

令和2年度 教科等別授業改善推進プラン

武蔵村山市立第二小学校 第2学年

教科等	(1)児童の実態から 特に育成したい能力や態度	(2)指導形態、指導過程及び指導方法等の工夫 ※学力向上の具体的な手だてを示す
国語	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや考えを伝え合おうとする。 伝えたいことや、自分の思いを明確にして書く。 	<ul style="list-style-type: none"> スピーチ、作文、音読など多様な表現活動を行う。 音読や視写などの活動を多く取り入れ、言葉に触れる機会を増やし、語彙力を高める。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な計算や測定および作図を正確に行う技能を付ける。 見通しをもって、問題解決に取り組み、自分なりに表現する力を付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に基礎的な計算練習をして、習熟を図る。 ブロックや絵、図、文を用いて自分の考えを表現できるようにする。 友達と考えを共有しながら、解決に至ったり、自分の考えを深めたりする。
生活	<ul style="list-style-type: none"> 自分と身近な人々、社会や自然との関わりに関心を持ち、考える力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 野菜作りを通して、自然と生活との関連に気付かせる。 町探検では、学区内の地図を活用し、自分たちの住んでいる町に愛着と親しみをもたせる。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 曲想や音楽の構造との関わりに関心を持ち、工夫して表現できるようにする。 身近な楽器に親しんで演奏することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の意味を理解したり、ハンドサインやリズム打ちをして旋律の特徴をつかんだりして、表現の工夫につなげる。 打楽器や鍵盤ハーモニカの基本的な扱い方、演奏の仕方を身に付け、演奏することの楽しさを味わわせる。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 自分の表し方で描いたりつくったり、見たままに感じたりすることを楽しもうとする態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な物を材料として扱い、興味をもって活動できるようにする。 児童の活動の過程に注目し、一人一人の表現の楽しさ、材料を基に発想したことを受け止めるようにする。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ゲームの約束を守りみんなと仲良くゲームをする態度を養う。 器械運動の動きにつながる、基礎的な運動能力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 体を動かす楽しさや、達成感を味わうことができる活動を多く取り入れる。 馬跳びや、手押し車など基礎的な動きを取り入れた運動を毎時間行う。
特別の 教科 道徳	<ul style="list-style-type: none"> 自尊感情を高め、友達のよさも認めることができる態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合い活動を通して、自分のよい所や友達のよい所に気付けるようにする。また、気付いた自分のよさを、生活の中で伸ばしていこうとする気持ちをもてるよう、授業以外でも声掛けをする。
学級 活動	<ul style="list-style-type: none"> 友達と仲良く助け合って、学級での生活を楽しくするために、物事にすすんで取り組む態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合い活動や、係活動を通して、自分たちからすすんで物事に取り組むよさを感じられるようにする。 学級や友達のために、自らすすんで仕事をしている児童を積極的に褒める。